

1. 犬山「子ども大学」の充実、発展にむけて

(特) 犬山しみんていの会コーディネイター

犬山子ども大学推進実行委員会委員長 川 島 典 之

犬山子ども大学は、犬山市教育委員会が平成14年度から学校週休2日制への対応策として始めました。当会では、平成15年9月にNPO法人を取得した機会に、犬山市教育委員会へ提案を行い、それが受け入れられて平成16年度から委託を受け実施することになりました。

平成23年度は21講座453名、平成22年度は22講座473名、平成21年度は21講座408名、平成20年度は22講座436名、平成19年度17講座362名、18年度18講座363名、17年度15講座287名、16年度13講座196名と、子ども達が着実に増えています。

私は、子ども達の世界から集団による遊びが無くなったことが、子ども達に大きな問題を起こしている主因と考え、子ども達に仲間との関わり方、友達作りになることのできる機会を数多く作って来ました。この姿勢は今後とも変わることはありません。

当会では、子ども大学の講座を行う上で、次のことを大切にしています。

- 1 子ども達が、学校・家庭でできない体験をすることによって、感動と達成感を味わって欲しいこと⇒感動と達成感の場の提供
- 2 保護者及び多くの方に、体験活動＝“遊び”が、子どもの成長にとって“かけがえのない宝物”であることの普及をはかること⇒体験活動の大切さの普及
- 3 少子化社会の中で、各地域で子どもの健全育成を進めていく土壌づくりに寄与していくことができれば嬉しいと考えています⇒地域での青少年健全育成の場の拡充

参加者数が着実に増加していることは、保護者の方々が、私達が考えている『子どもの将来にとって体験活動の大切さ』を十分理解していただいていることの現われと考えています。

平成23年度は、犬山市教育委員会から委託19講座（文部科学省、愛知県教育委員会、犬山市の3分の1負担）と「子どもゆめ基金助成金」で2講座を行ってまいりました。

平成24年度は、21講座で、内容を充実させながら行ってまいりますので、保護者を始め関係者の方々、よろしくご支援ご協力をお願い申し上げます。

おわりに、この子ども大学の実施についてご協力いただいた指導員・講師の方々を始め施設提供を願った犬山市に厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。



☆平成23年度 活動成果発表会
平成24年2月5日 (日)

2. 講座別参加状況

〔学校別〕

	楽田小	羽黒小	東小	南小	西小	北小	城東小	今井小	池野小	栗栖小	城東中	犬山中	東部中	南部中	市外小中	小計
犬山市委託																
① 国際理解	3	2	5	1	3	4	13	3							2	36
② お店のオーナー	3				1	1	10		2							17
③ 生き物探検隊Ⅰ	10	3		3		4	5									25
④ 生き物探検隊Ⅱ	2	3	3		1	2	4		1						2	18
⑤ 電子工作	1	1		1	4	3	1				2	1			1	15
⑥ エジソン	5		3	1	3	2	6	1	4							25
⑦ 電波教室	2	1							2					1		6
⑧ 武者クラブ	2	1	3	1	1		2			1						11
⑨ 囲碁将棋	9	2	1	5	3	6	3					1			1	31
⑩ 伊勢型紙		1			1	1	1								2	6
⑪ 絵画教室 午前の部	2	4		3	4	3	5		1						2	24
⑫ 絵画教室 午後の部	5	1	2	4	1	4	8									25
⑬ お茶お花	2	6	2	1	5	2	2			2						22
⑭ 陶芸	3	6	1		5	4	4									23
⑮ 押し花	1	1	2	7	4	3	4									22
⑯ パッチワーク	1	3	3	8	4	3	4									26
⑰ レク・スポーツ	7	5	2	9	3	3	5	2							2	38
⑱ 原始人		6	5	1	3	1	8								1	25
⑲ 自然教室 午後の部	4	2	2	4	1	2	5		2							22
独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」助成事業																
① 冒険教室	2	3	1	3	1		3		2							15
② 自然教室 午前の部	8	2	1	3			7									21
計	72	53	36	55	48	48	100	6	14	3	2	2	0	1	13	453

〔学年別〕

		1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	中 1 年	中 2 年	中 3 年	計
犬山市委託											
①	国際理解	9	8	6	5	2	6				36
②	お店の オーナー				6	8	3				17
③	生き物 探検隊Ⅰ		14	4	4	3					25
④	生き物 探検隊Ⅱ		1	8	3	3	3				18
⑤	電子工作				5	5	2	2		1	15
⑥	エジソン	5	3	8	5	2	2				25
⑦	電波教室				3		2	1			6
⑧	武者クラブ			4		2	5				11
⑨	囲碁将棋	10	6	2	4	4	4		1		31
⑩	伊勢型紙		3	1	1	1					6
⑪	絵画教室 午前の部	7	9	6	1		1				24
⑫	絵画教室 午後の部	10	7	3	2	2	1				25
⑬	お茶お花	4	6	3	4	3	2				22
⑭	陶芸	5	5	3	4	4	2				23
⑮	押し花	4	6	2	8		2				22
⑯	パッチ ワーク	10		5	2	7	2				26
⑰	レク・ スポーツ	12	3	7	8	4	4				38
⑱	原始人		1		9	10	5				25
⑲	自然教室 午後の部	7	9	4	2						22
独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」助成事業											
⑳	冒険教室			1	4	4	6				15
㉑	自然教室 午前の部	10	3	7			1				21
計		93	84	74	80	64	53	3	1	1	453

3. 各講座の紹介

<犬山市委託事業>

①国際理解 “お料理で世界をつなごう！子ども外交官”

内容：お料理を中心に、いろんな国の人と交流し、世界をまるごと体験。夏休みには、ワールドジュニアキャンプ、ペルー領事館へも出かけ、子ども外交官になります。

回	月 日	内 容
①	6/18	ペルー料理
② ③	7/31～8/1	宿泊交流（ワールドミニキャンプ）
④	8/6	楽田夏祭り ブース参加
⑤	9/17	南米エクアドル料理
⑥	10/11	ペルー領事館 訪問
⑦	11/5	森と遊ぼう「森で バングラ ものがたり！」
⑧	11/19	インド料理
⑨	11/27	初めてのJAZZ ピアノ！ 音楽って、こんなに すてき！！
⑩	12/18	世界の食糧事情をクリスマスに体験しよう！
⑪	1/15	中国のお父さんと一緒に、餃子づくり

講師コメント

- ・ 今年も1年があつという間に過ぎました。
- ・ 夏休みの宿泊交流では、初めてのお泊まりに泣いた子も2～3人。でも、次の日には震災の話を真剣に聞いて、ロープワークに励んでいましたね。
- ・ また、秋のペルー領事館訪問では、公使相手に質問をたくさんしていました。
- ・ 料理にも目を輝かせて取り組んでいました。「お母さんに、レシピをあげたい！家で作ってあげたい」と、うれしい言葉もたくさん聞きました。
- ・ 「国際理解」というととても難問に思いますが、ハンガーバンケット（饑餓体験）で思ったこと、違う国の習慣に戸惑ったり、いいなあと感じたり、何かおかしい？と感じたこと、そんなことを胸に持ち、それを大切にできる人に成長してもらえたら……。そんな気持ちで講師一同、プログラムを考えています。
- ・ 4年間も続けて通ってくれた子、市外からも休まず参加してくれた子、「違う学校でも仲良くなったよ！」と、言ってくれた子が多かったこと。講師はみんな、うれしく思っています。来年もまた、いろんな国の人、お料理、音楽に出会い、そして新しい仲間になっていきたいです。 Adios 再見！



参加者感想

- ・ 初めての国際理解楽しかったです。トルティージャなどがおいしかったり、領事館に行けて、いい経験になりました。
- ・ 最初は、友達といっしょにやるんじゃなく、1人でやるから、さびしかったけど、今は、少し楽しくなってきた！
- ・ いろんな世界の料理を作れたし食べれたのでとても楽しかった。レシピもかんたんなので私ぐらいの年にはちょうどいい。
- ・ いろんな国のご飯を作れるしレシピがあるから家でも作れる。からまた、食べれるし楽しいからうれしいです。



②お店のオーナーになろう！“チャレンジ ザ ショップ”

内容：参加者がお店の経営者になり、ライバル店と商売を競い合います。（2～3人で共同してそのお店を運営することもできます。）楽しく遊びながら、どれだけ利益が出たかを計算し、お店をするコツを学びます。お金の大切さも学びます。

回	月 日	内 容
①	7/21	・ グループ分け、ゲームの説明、帳簿の付け方や用語の説明
②	7/22	・ 参加者が2～3人の組に分かれて「宝石店」や「クッキー店」の共同オーナーとなって、ライバル店と商売を競い合う。カードの指示に従って、商品の仕入れと販売を行い、現金出納帳をつけ、売上高や仕入高を計算した後、利益計算をしました。
③	7/28	
④	7/29	
⑤	8/4	
⑥	8/5	・ 毎回同じゲームを繰り返しながら、少しずつ理解し上達して頂きます。
⑦	10/23	・ 犬山城下町秋祭りにて、模擬店参加

講師コメント

- ・ この講座は夏休み集中講座です。市内外6小学校の子ども達16名が参加してくれました。
- ・ 今年で5年目になりますが、今年の講座参加者の特徴は姉弟での参加が1組あったこと、そしてリピーターが6名あったことです。
- ・ この講座は簿記3級程度の知識が必要となるゲームです。10円で仕入れた宝石やクッキーを出来るだけ多く、より高く売って利益を多く出すゲームなのですが、競合店があり、いくらで売るかを決めることがポイントです。仕入・売上の状況を現金出納帳に付け、最終利益を計算する方法がちょっと難しくて苦戦しましたが、ルールに慣れてきたら面白く、楽しんで遊んでいました。
- ・ さらに、参加者の理解の度合いを見ながら、ルール・内容のバージョンアップを図っていました。
- ・ 6日間の講座ですが、はじめはお互いを知らない子ども達が、終りの頃には皆仲良くなっていました。
- ・ 犬山城下町秋まつりでは秋野菜の販売体験をしました。しみんていの前に模擬店を出して、12名の参加者がサツマイモ・サトイモ・カボチャ・大根を販売しました。
- ・ 袋詰めをし、売り値を決め、チラシを作って売りました。試食販売もしました。タイムサービスで値下げして売りました。実際に売ることの難しさを体験し、売れたときの喜びを体験できたと思います。
- ・ なお、今年で5回目の販売体験でした。5年を区切りとして、今年でこの講座を終了させていただきます。子どもたちと触れ合う貴重な体験をさせていただきました。



参加者感想

- ・ すごく楽しかった。お金の大切さなどを教えてもらったのですごく勉強になりました。
- ・ 最後にまとめるのがちょっと苦手。でも、ゲームは楽しい！
- ・ とても、本格的だった。対戦するのが楽しい。
- ・ 最初は初めてで友達がいなくて分からなかったけど、友達もできて、やり方も覚えてできたので、あとゲームもできて楽しかったです。
- ・ お店を出してお金をもうけたり、商品などを手に入れたりしてすごく楽しかったです。

③生き物探検隊 パートⅠ

内容：昆虫採集や標本づくり、魚とり大会や生き物の飼育の仕方を勉強し、自然の基礎を学びます。

回	月日	テ ー マ	内 容
①	6/26	トンボ講座	トンボについて知ろう！
②	7/29	昆虫採集	どんな虫が見つかるかな？
③	7/30	昆虫の標本作り	標本の作り方
④	8/14	魚の飼育セットを作ろう	ミニビオトープのしくみ
⑤	8/20	がさがさ大会	川の魚や生き物をとろう
⑥	9/17	苔玉をつくろう	苔玉の役割や、作り方、育て方
⑦	10/22	鳴く虫を捕まえよう	どんな鳴き声？
⑧	11/19	カブトムシ講座	カブトムシの一生と、飼育の仕方
⑨	12/17	ストーンペインティング	どんな石？ 何を描く？
⑩	1/7	冬眠している生き物を探そう	どんな生き物が見つかるかな？

講師コメント

- ・ 今年は天気が悪い日にちょうど当たる日が多かったなか、無事終わることが出来て嬉しく思います。
- ・ 天気のことこそそうですが、自然と遊ぶことは、自分の思い通りにいかないこともたくさんあります。
- ・ その中でその時にしか出来ないことを体験し、工夫して楽しむ。自然と遊ぶということはとても勉強になります。
- ・ この講座を通して自然の大切さや、楽しさが1人でも多くの子に伝わっていたらとても幸いです。
- ・ 楽しい思い出をたくさん作って、自然を大切に思える人になってほしいと思います。
- ・ 犬山の豊かな自然がいつまでも守られますように！



参加者感想

- ・ いきものの生態にはこんなことかあと不思議に感じたことがありました。
- ・ 最初は虫が嫌いだったけど、この講座をやったら、虫が好きになりました。
- ・ ちょっと楽しくて昆虫のことがよく分かりました。
- ・ すごく楽しい、先生が優しくていい。
- ・ 楽しかったので、今度はパートⅡに入りたいです。



④生き物探検隊 パートⅡ

内容：自分で竿を作って魚をつったり、真夜中に昆虫をとったり、川の生態調査、爬虫類や両生類など少し専門的な自然体験を経験します。

回	月日	テ ー マ	内 容
①	6/18	隊員バンダナを作ろう	植物で染める
②	6/19	エビ、魚とりマシーン	作り方・仕掛けのエサ
③	7/16	両生類について知ろう！	両生類とは？・両生類が住める環境
④	7/30	真夜中の昆虫採集	昆虫採集の仕方（ライトトラップ）
⑤	7/31	クワガタムシ講座	クワガタの取り方・飼い方
⑥	8/6	釣りざおを作ろう！	釣りざおの作り方
⑦	8/7	釣りをしてみよう！	釣りの仕方
⑧	8/27	爬虫類について知ろう！	爬虫類とは？・爬虫類が住める環境
⑨	9/18	川の上流の生き物調べ	上流の川の特徴
⑩	10/16	川の中流の生き物調べ	中流の川の特徴

講師コメント

- ・ 今年は天気が悪い日にちょうど当たる日が多かったなか、無事終わることが出来て嬉しく思います。
- ・ 天気のことそうですが、自然と遊ぶことは、自分の思い通りにいかないこともたくさんあります。
- ・ その中でその時にしか出来ないことを体験し、工夫して楽しむ。自然と遊ぶということはとても勉強になります。
- ・ この講座を通して自然の大切さや、楽しさが1人でも多くの子に伝わっていたらとても幸いです。
- ・ 楽しい思い出をたくさん作って、自然を大切に思える人になってほしいと思います。
- ・ 犬山の豊かな自然がいつまでも守られますように！



参加者感想

- ・ 今までやった子ども大学の中で最高に楽しいです！
- ・ 今年は2回目ですが去年もやっていたのですが、ぜんぜんあきません。去年よりも自然を大切にする心はレベルUPしてと思います。この講座を受講して魚や虫、動物、自然。すべてが輝いて見えるようになりました。
- ・ 自然の中で一生懸命生きている命を尊敬できるようになりました。いろんなことを知って、いろんな命をもっともっと知ってピンチになっている動物たちを少しでも助けられるようになれば嬉しいです。
- ・ 楽しんで自然を分かる。最高の講座です！
- ・ この講座を楽しそうだったからやってみたら、人間が生き物の住める環境を壊して、数を減らしていることを初めて知りました。これからは減らすのではなく増やしていきたいです。



⑤サイエンス 電子工作

内容：電子工作の勉強から実技。古い真空管を使ったラジオ制作から、ワンチップマイコン PIC-IC 使用・電子サイコロ、電子ホタルを作って勉強します。

回	月 日	内 容
①	6/25	・ FMトランスミッターの制作（半田付けしない新しい電子工作） ・ 市販の電子工作キット「TK728」の作成 ・ 真空管ラジオの分解から組み立て ・ LED点滅回路の作成 ・ IC使用「ラジオくん」の作成 ・ 1球電池管使用のラジオ ・ PICマイコンの電子サイコロ
②	7/2	
③	7/9	
④	7/16	
⑤	8/20	
⑥	9/10	
⑦	10/9	
⑧	10/29	
⑨	11/12	
⑩	12/10	

講師のコメント

- ・ 電子工作の好きなことを、さらにパワーアップ出来るように！
- ・ PIC マイクロコンピュータはどうでしたか、作ったけど動かない。ミスの原因を今一度考えて次回に生かしましょう。
- ・ 電子工作の基本は少年期の学んだことが将来まで影響すると思っています。
- ・ 自分でプログラミングしてPICコンピュータを使い切りマスター出来るように講座内容へ講師みずから指導していきたい考えております。



参加者感想

- ・ ちょっと難しかったけど、楽しかった。
- ・ 思ったより難しかった。でも、やってみて楽しかった。



⑥君も エジソンに なれる！

内容：自然のエネルギーを利用した物、乗り物を作ります。

1人で（ソーラーレンジ・ロボット）を失敗しても自分で作ります。みんなで力を合わせて（ソーラーカー・イカダ）などを作ります。1つの機械がどんな作りになっているかを、自分で考えてみよう。

回	月 日	テ ー マ	内 容
①	6/11	太陽はあつい	ソーラーレンジ
②	7/2	光はすごい	ソーラーカー
③	7/23	光はすごい	ソーラーカー組み立て
④	8/6	光はすごい	ソーラーカー運転
⑤	8/27	水のちから	ペットイカダ
⑥	9/3	水のちから	ペットイカダレース
⑦	10/1	あるのかな？	ロボットづくり
⑧	11/26	空気のちから	ペットロケット
⑨	12/3	空気のちから	ホバークラフト
⑩	1/7	風にのろう	鳥凧

講師のコメント

- ・ エジソンのねらいは、体験から学びその場でどう行動するか、子どもどうして協力できるか、自分だけで行動するか。
- ・ 講座を進める中で、最初は理解度のバラツキがでたが良しとした。
- ・ ソーラーカーではチームがみんなで作り上げる感動を見つめることができた。
- ・ PETイカダでは、作成からプールでのレースまで、団体作業を通して相手を思う心が芽生えたのではと思う。
- ・ 1人で作るロボット作りのときに、教えあう姿が見られた。
- ・ 子どもたちはこの講座を通して心身とも、ひとまわり大きくなったと感じた。

参加者感想

- ・ ソーラーカー運転はソーラーパネルであんなに動くんだと思いました。
- ・ ペットロケットではすごい飛んで楽しかったです。
- ・ 最初の子ども大学だったけど、いろいろなことを学べて楽しくてよかったです。



⑦おもしろ電波教室

内容：トランシーバーで無線交信、モールス信号の学習、ミニFM放送と映像通信の実験、体験などから、
みらいの科学少年を育成したい。

回	月 日	テ ー マ
①	6/11	電子ブロックで遊ぼう
②	6/25	モールスで話そう
③	7/9	AMラジオとミニFM送信機を組み立てよう①
④	7/23	AMラジオとミニFM送信機を組み立てよう②
⑤	8/21	AMラジオとミニFM送信機を組み立てよう③
⑥	8/27	AMラジオとミニFM送信機を組み立てよう④
⑦	9/10	特小トランシーバーで遊ぼう
⑧	10/22	ミニFM放送
⑨	11/12	愛知北FMに出演してみよう
⑩	12/10	画像通信をしよう

講師のコメント

- ・ 前年度は、夏休み期間中の全5回の講座で開催した電波教室でしたが、今年度は、1年を通して全10回で開催しました。10回に増やしたことにより、前年度は1回（2時間）の講座で行っていた内容を2～3回（4～6時間）で行った事により、前年度はあまり時間をあてることが出来なかったハンダ付けなど、基礎練習からしっかりと出来て十分に子どもたちに体験してもらうことが出来ました。
- ・ また、回数を増やしたことにより、講座内容にも余裕が出来たので、前年度には無かった「ラジオの歴史」や「ラジオの仕組み」、「地上デジタルTV用の変なアンテナ製作」なども増やしました。
- ・ 今年度は、生徒数が少なくさみしい講座となりましたが、その分、子どもたちには講師がしっかりと教えることが出来たので、かなり充実した内容の指導ができたと思います。

参加者感想

- ・ ハンダをやって楽しかった。



⑧子ども 武者クラブ

内容：学年に応じた、かぶと、刀をつくり、犬山の武者行列に参加しよう。

回	月 日	内 容
①	7/2	型紙写し、裁断カット 初級赤兜、中級黒兜
②	7/9	兜鉢金づくり（腰巻まで貼り付ける）
③	7/16	第1シコロの吹き替えし部、アルミ補強と穴あけ
④	7/23	吹き替えし部折り曲げ、塗装の開始
⑤	7/30	塗装・刷毛塗りと吹き付け
⑥	8/6	眉庇差しと吹き返しに飾り布・紙を貼り付け
⑦	8/13	前立て金具取り付け、兜内張り取り付け
⑧	8/20	糸威し 兜組み立て開始
⑨	9/3	兜組み立て完成、試着
⑩	9/17	太刀作り
⑪	10/1	太刀作り
⑫	10/8	太刀作り

講師コメント

- ・ ものづくりの難しさは常に思う。新しい物を創作する事と違って、子ども武者クラブでは昔在ったデザインをコピーして、同じ様な形に、作る事を理想としていますが、さて子ども達の甲冑づくりでは、素材から形づくる時間が無く、講師は頭を悩ませています。
- ・ 幸い今年度の兜製作は、順調に進みましたが、刀の製作では土産物の白鞘刀を購入して、外装を子ども達が行う計画であったが入手できず、材料を購入して講師が削って整形しましたが、城下町秋祭り甲冑行列までに子ども達で外装が出来ず、講師が完成させてしまいました。
- ・ 結果、子ども達は自分で作っていないので愛着が無いためか、本番前に3本も壊してしまいました。
- ・ 次年度では、お祭りの甲冑行列までに子ども達の作品が間に合わなくても、代用品で行列に参加し、兜と刀は自分で最後まで作れるよう、講座終了後は、甲冑広房などにて完成まで指導します。



参加者感想

- ・ 思ったよりもかっこよくてよかったけど難しかった。
- ・ 武者クラブでかぶとを作って組み立てることが面白かったし、いい経験になった
- ・ かぶとを作るのは難しいなと思いました。

⑨囲碁・将棋たいけん教室

内容：アジアで起こり日本独自に発展した将棋と、今や世界に通じる囲碁を体験し、自分で考えることの楽しさや、友達と、きたえあうことの嬉しさを味わう。

回	月 日	内 容
①	6/12	- 対局するときのマナーについて - 初心者に対して、対局の始め方、終わり方、基本ルールの説明 - 各自の希望や目標についての聞き取り - 必要に応じてクラス分けを実施
②	6/26	各回の進め方 - 前半は、囲碁・将棋それぞれの基本型についての解説や、次の一手問題・詰碁・詰将棋問題の検討および解答を行う。 - 後半は、実戦対局、順次指導対局を行う。 基本型＜囲碁＞ ・石の取り方 ・石の生き死に ・コウと禁じ手 ・地の計算の仕方 基本型＜将棋＞ ・駒の特徴 ・王の囲い方 ・戦い方、禁じ手 等
③	7/10	
④	7/24	
⑤	8/7	
⑥	8/21	
⑦	9/11	
⑧	9/25	
⑨	10/9	
⑩	10/23	
⑪	11/6	
⑫	11/20	
⑬	12/11	

講師コメント

- 本年度はとくに低学年の子どもが多かった。小学1・2年生で15人と全体の約半分を占めた。中学生は将棋に1人が参加した。また市外からは囲碁に古知野南小からの参加があった。
- 将棋はテキスト本を使い、序盤の王の囲い方に重点をおいた。囲碁は各回のプリントを使って、石の「生き・死に」についての話をした。後半は両方とも友人同士で対戦した。



参加者感想

- 負けばかりだとつまらなくなるけど勝つとすごく楽しい。
- 楽しいし、囲碁のこと良く分かったからよかったです。
- 将棋はあまりできないけど、いつも楽しくて(時々)やっています



⑩伊勢型紙 彫りと染め

内容：日本に古くからある伝統工芸を分かりやすく教えます。伊勢型紙を使って、いろんな布の小物に染め、日常生活で利用できる小物作りを楽しんでほしい。

回	月 日	内 容
①	6/11	やさしい染め物① 花・金魚など
②	6/18	すきなものをかいてみよう くだものなど
③	7/9	子ども向けの型紙づくり① どうぶつ・くだもの
④	7/23	やさしい染め物②
⑤	8/6	ちょうちょ・とんぼなどをかいてみよう
⑥	8/27	子ども向けの型紙づくり② 花火・昆虫など
⑦	9/10	やさしい染め物③
⑧	9/17	クリスマスの絵をかいてみよう
⑨	10/1	型紙を使って染める
⑩	10/29	お正月の絵を型紙に彫ります

講師コメント

- ・ 少人数で始まったこの講座の内容はしっかりと行うことが出来た。
- ・ 連続で3年やってくれた子が友達を連れてきてくれた。来年もさらに続けてくれるとのこと、力強く思っている。
- ・ 秋の行事やその他の催事があると必ず声をかけ、人集めに力を注ぐ努力をした。
- ・ 講座を始める前は分からなかったが、中に入っているいろいろな体験がとても楽しかったと言ってもらえて嬉しかった。「型彫りによる集中力がついた」「色彩感覚を養うことが出来た」「楽しく学べ友人も出来た」
- ・ 伝統工芸を新しい世代に残すための努力を続けたい。



参加者感想

- ・ 少しは面白くって楽しかった。いろんな絵で染められたから楽しかった。
- ・ とても楽しくて、家ではできないのでこれにしてよかったな~と思う。
- ・ 作った物は、部屋で飾りたいです♪



⑪楽しく絵をかこう 午前の部

⑫ 〃 午後の部

内容：めずらしいものや、かわったものを、今までとは、ちがうあらわし方で、楽しく絵をかこう。

回	月 日	テ ー マ	内 容
①	6/25	いわしとしいたけ	色紙に「いわし」と「しいたけ」をかく
②	7/2	自分の体	大きな紙に自分の体をうつしとる 家の人に手伝ってもらって一緒にかく
③	7/23	自分の体	色を付けてくわしくかいて完成する (前回と同じ服や靴)
④	8/6	Tシャツのデザイン	Tシャツに染料で自分らしくデザインをする
⑤	8/27	自分の顔	鏡をのぞいて自分の顔を楽しく描く おもしろい顔 こわい顔 変な顔
⑥	9/10	石ころをかく	色々な石ころを良く見て、割り箸でくわしくかく
⑦	10/1	キャラクター	自分の好きなテレビや雑誌の人気のキャラを楽しくかく
⑧	11/5	市民展の見学	みんなで市民展の作品を鑑賞する
⑨	12/17	するめ	するめをそっくりにうつして、おいしそうにかく
⑩	1/14	ピカソに挑戦	ピカソになった気分で、元気にかく

講師コメント

- ・ 元気に出かけてきて、楽しく描いている児童が多い。
- ・ 描くものを選び、用紙を自分で決め描法をいろいろ工夫させて、出来るだけ「自分らしさ」を出させるように心がけている。
- ・ 他人の良いところを見つけさせるよう指導法を工夫している。

参加者感想

- ・ 私は、絵が元々好きなので、この講座をならってから絵のコツが分かるようになりました。
- ・ いろいろな絵が、かけてうれしい。絵具の使い方が、わかってよかった。
- ・ ふだんは「するめ」や「いわし」や「石」をよーく見ていないのにあんなによーく見ることは、初めてでした。
- ・ みためは、簡単そうに見えるけどやってみるとすごく難しかったです。
- ・ やって見たらすごく楽しかったです。
- ・ 絵を、そんなに、いっしょうけんめい書いたことがなかった。また、違う講座で、参加したいです。
- ・ おじいちゃんの、きじゅの、おいわいで橙の絵をあげたらほめてもらえた。色紙に上手にかけました。いわしの絵が楽しかったです。あと、おじいちゃんにイカの絵をみせたらほめてもらったよ。



⑬日本文化にふれよう！ “お茶・お花”

内容：お点前のけいこを通して、物への感謝、人への思いやり、礼儀を身につける。お花を生けることで、植物の命、自然の大切さを育て、礼儀を身につける。

回	月 日	内 容
①	6/18	基本動作（おじぎの仕方、歩き方、立ち方、座り方 他） 道具の説明 お抹茶、お菓子のいただき方
②	6/25	おてまへの基本練習（ふくさ、茶器などの扱い方） お抹茶の点て方、お菓子の出し方、茶室の入り方
③	7/2	お茶の歴史 おてまへの練習 お客様の練習
④	7/9	つくばい（手を洗う）の使い方 お盆で、おてまえ
⑤	7/23	ミニ茶会を開きましょう おうちの方にも参加していただきましょう
⑥	9/10	はじめての生け花 お花と仲良くしましょう（カップを使って小さな生け花）
⑦	10/15	花のいのち 花の生きている姿を見ましょう（剣山を使って花を生ける）
⑧	10/22	季節の花 秋の花を生けましょう（紙パックを使って生け花）
⑨	11/12	生け花の歩み 伝えられてきた生け花を知りましょう（剣山を使って花を生ける）
⑩	12/10	プレゼントの生け花 心をこめて生け花をしましょう（手作りの花器で生け花）

講師コメント

鵜飼豊江（お茶の先生）

- ・ 合わせて十時間という短時間の中で教える事は限られます。
- ・ 挨拶の仕方、おじぎの仕方、お茶・お菓子のいただき方。
- ・ お運びの仕方等に重点を置きましたが、もう少し時間があればお点前もしっかりお稽古が出来たと思います。
- ・ お抹茶の泡を立てるとき、狭いにじり口から茶室へ入るときの子供達達の好奇心いっぱいの顔が忘れられません。

名畑美智子（お花の先生）

- ・ 低学年が多く、手数がかかりますが、皆楽しそうにお花と向き合ってくれました。
- ・ 前日に花材を小牧まで買いに行き、準備に要する時間がかかり大変でした。



参加者感想

- ・ お花は、生きているから美しい（いやされる）と先生に、おそわって、家に帰って、かざったら、「花は、美しなア」と思いました。今から900年ほど前に日本の人が、中国にお茶を教えてもらって、それからどんどんお茶が、広がったということが、初めてでした。
- ・ お茶は、初めて飲んだときとっても苦かったです。お花の名前をおぼえられてうれしかったです。
- ・ お花は、けんすいとき、休んでいて、わかんなかったけど、すごく楽しかったです。
- ・ 私は、お茶とお花をやってよかったです。お茶は、お菓子とかを運んで、緊張したけど、とても楽しかったです。お花は、さしたりするのが楽しかったです。

⑭はじめての 楽しい陶芸

内容：基本の作り方を学び、それを利用し、子どもの作りたいものを作る。また、共同製作では子ども達にそれぞれのアイデアを出し合って、楽しく作業することを体験してほしい。

回	月 日	タイトル	内 容
①	6/18	基本を学ぶ	茶碗をつくる
②	7/2		茶碗の仕上げ
③	7/16		花瓶をつくる
④	7/30		花瓶の仕上げ
⑤	8/6		タタラでつくる
⑥	8/27	共同制作	グループ制作
⑦	9/10		
⑧	9/17		
⑨	10/8	絵付け	
⑩	11/19	完成品発表会	

講師コメント

- ・今回は、2度目ということで講師としては、ゆとりを持って子ども達と接することができてよかったと思います。
- ・毎回、違う子ども達に基礎から陶芸を体験してもらおうと、いつも、違う反応を示してくれるので、見ているのも楽しく、こちらも教えがいろいろありますし、教えられます。
- ・また、完成した作品を、それぞれに渡してあげると、どの子もうれしそうに何に使うとか、誰にプレゼントするかを教えてくれるのも、とても嬉しいことです。
- ・ただ内容が難しいので、小学1・2年生の子達には大変なこともあり、そこに時間をかけずにスムーズにやれると、もう少し別の事も出来るのかな？と反省することもあります。
- ・次回もきっと個性的な子ども達が来てくれると思うので、子ども達に負けないように、頑張りたいと思います。



参加者感想

- ・私の手作りのお皿と茶碗が上手にできました。それと友達が2・3人出来てとてもうれしかったです。
- ・すごく難しかった。でもお茶碗とお皿ができた時はうれしかった。
- ・絵付けと最後の自由制作がとても楽しかった。
- ・私は作ることが好きだったから、陶芸教室とても楽しかったです。あと、先生がとても面白い人だなと思った。

⑮押し花で ものづくり

内容：暮らしの中に、押し花を取り入れ、花にふれることによって、心の豊かさ、やさしさを感じ取ってほしい。

回	月 日	内 容	ね ら い
①	6/18	名札・定規	ピンセット・ボンドの使い方
②	7/2	クリスタルスタンド	お部屋に飾って楽しみましょう
③	7/16	色紙に押し花を！	ウェルカムボードなど、各自で思いおmoiのものを作ります 色々に使ってくださいね
④	8/6	キーホルダー・他	持つことの楽しみが感じられます ※押し花がどうして出来るか学びます
⑤	8/27	花のコースター	テーブルを明るく、楽しくしてくれます
⑥	9/3	ミニティッシュケース・マグネット	お部屋飾りのワンポイント
⑦	9/17	クリアファイル	予定表やお知らせをはさんで役立てましょう
⑧	10/8	カード作り	プレゼントカードを作ります
⑨	11/12	押し花でおひな様	3月をお楽しみに
⑩	12/17	予備日	これまでの補講をします

講師コメント

- ・今年度受講者22名中低学年10名中学年10名でしたので、受講内容を考え、説明に時間をかけ製作速度をゆっくりすることを心掛けました。「何回も指導してもらえたので、よくわかった」との意見も聞かれました。
- ・しかし中には、早く仕上げて時間を持て余す子もあり、その残り時間に折り紙で押し花に役立つグッズ作りをしました。折り紙の得意な子達がいて、色々作り始めると、その周りに子ども達が集まり教えてもらうなど、思いがけない交流が出来て、楽しい教室になりました。
- ・押し花の製作活動は、毎回真剣で、全ての作品を完成させて終わりました。何かを作り上げたという自信がこれからはいろいろな所で役立てばと思います。
- ・欠席などの連絡や毎回の送迎をしてくださったご父兄のみなさまに感謝いたします。

参加者感想

- ・家で花を押ししたことがないから、やってみてすごく楽しいと思った。だからこれからも、押し花を可愛く作りたいと思った。
- ・先生が細かく説明をしてくれて分かりやすかったです。バランスを考えるのが難しかったけど、友達と協力して楽しくできました！
- ・子ども大学で、しおり、キーホルダー、コースター、壁掛け、色々なお花や葉っぱで出来るから面白いです。
- ・作ったやつを友達に見せると「かわいいね。」と言ってくれるので、うれしいです。
- ・押し花のこと、先生が分かり易く説明してくれてやりやすいから良かったです。



⑩子ども パッチワーク

内容：ひとつの物を完成させるために、いろんな布をぬい合わせてつくります。大きな手さげカバン・サンタクロース・おひなさまなど、いろいろ作ります。

回	月 日	作 る も の
①	6/18	手さげ袋
②	7/9	パッチワーク道具入れ（手提げ袋）
③	7/23	
④	8/6	ブローチ付きショルダーバッグ （しっかり長く使えるパッチワークの ショルダーバッグを作ります）
⑤	8/20	
⑥	8/27	
⑦	9/17	ストラップ付きの「おさいふ」
⑧	10/15	サンタクロース 小物作り
⑨	11/12	おひな様 人形のかべかけ作り
⑩	12/10	

講師コメント

- ・ 23年度は1年生が10名と多いので最初はどの様に進めるか考えましたが、高学年の子ども達が回数が進むと自然に小さな講座仲間を見たり教えたりして頂き良かったです。
- ・ また、1年生全員、針に糸を通す、糸が針から抜けないよう糸の端の玉を作ることも覚えてくれて、針を使って縫って作品を仕上げてくれる努力。教える方も、分かりやすく作りやすく早くなど工夫しましたが、頑張ってくれていることが、教える方の励みにもなりました。
- ・ 作った巾着や物入れの手提げカバンをを講座に持ってきてくれる子、友達にも作ってあげた子、夏休みの宿題に作って出した子、最後のお雛様は高学年は仕上げる事が出来、小さい子は家で仕上げる子などいろいろありました。
- ・ 全員作ることを楽しみに講座に来て下さった事に感謝です。

参加者感想

- ・ やってみる前は難しんじゃないか?とおもっていたけど、やってみたら面白いし簡単で気軽に家でも作るので面白かったです。
- ・ 手を針でさして痛かったこともあるけれど、出来たときとても嬉しかった。
- ・ 作ったことがないものを作れて、とても楽しい。



⑰レクスポーツ “もっと遊ぼうぜい！”

内容：ちょっとかわった おもしろスポーツです。初対面の子どもたちと共にあそびます。友だちづくりに最適です。

回	月 日	内 容
①	6/11	はじめましてのゲーム (仲良くなろうぜい！)
②	7/9	チャレンジ ザ ゲーム3種 ・ ドッチビー
③	7/23	チャレンジ ザ ゲーム3種 ・ ドッチビー
④	8/6	チャレンジ ザ ゲーム3種 ・ ドッチビー
⑤	8/20	チャレンジ ザ ゲーム3種 ・ ドッチビー
⑥	9/17	チャレンジ ザ ゲーム3種 ・ ドッチビー
⑦	10/1	チャレンジ ザ ゲーム3種 ・ ドッチビー
⑧	10/15	チャレンジ ザ ゲーム3種 ・ ドッチビー
⑨	10/29	チャレンジ ザ ゲーム3種 ・ ドッチビー
⑩	11/12	記録に挑戦！ チャレンジ ザ ゲーム

講師コメント

- ・ 本講座は、「楽しく体を動かし、体力向上を図る。」「皆で協力し、できたことの喜びを味わう。」の2つをねらいとし、実施してきた。そのため、講座で行なうレクリエーションスポーツ種目も、昨年と同じく『チャレンジ・ザ・ゲーム』を行なった。
- ・ このスポーツの特徴は、「結構運動量がある。」「内容が比較的簡単であるので、練習を積み上げ上達できる。」「参加するグループ全員が協調することが必要である。」という3つである。そのため、小学校1年生や2年生の子どもでも頑張ればできるし、上達もしていく。上達すれば、達成感も生まれ自己肯定感が高まる。ただし、みんなで協力するということが、現代の子ども達には難しいことのようなのである。
- ・ そこで、10回の講座を通して、競技するグループが協力できるように、「声を掛け合うこと」「励ましあうこと」「失敗しても責めないこと」「互いに教えあうこと」を、繰り返し繰り返し子ども達に指導してきた。そして、子ども達皆が、協力して協技に取り組み、その結果、「みんなでできたとき」「みんなが上達できたとき」、子ども達の喜びや成成感、とても大きなものであった。
- ・ 今後も、子ども達に、この感動を味わってもらえるように、支援していきたいと思う。



参加者感想

- ・ すごく面白くて、もっといっぱいやりたいなと思っています。来年も参加したいと思いました。力を出してやりたいな。もっとやって力をつけたいです。
- ・ 私が知らない様々なスポーツがあったので、とても面白いです。私が気に入ったのは、バンブーダンスです。理由は難しいかな～と思ったけどやり方は簡単だったので、すぐできるようになったからです。
- ・ 私の家ではネットなどをホームセンターで買ってバーベキューの時などで「ネットパス」をやっています。「キャッチングザスティック」も棒を買ってきてやりました。家でもできるので楽しいです。
- ・ 毎回やったことのないスポーツが出来るので、とても楽しいです。友達と協力して出来るのが、いいところだと思います。

⑱犬山原始人クラブ

内容：火おこしや縄文土器、石器など物づくりを通し、昔の人の知恵や技術を今の私たちの生活に生かし、たくましく生きる力を身につける。

回	月日	内 容
①	6/25	オリエンテーション マイギリ式火おこし器作り
②	7/2	火おこし大会
③	7/23	空き缶ライス・五平餅作り & 板取川で泳ぐ
④	7/30	青竹でパンを焼く & 板取川で泳ぐ
⑤	8/6	石器作りと、石での火おこし体験 & 板取川で泳ぐ
⑥	9/11	縄文土器作り & 板取川で泳ぐ
⑦	10/8	わらざうり・竹の水筒作り
⑧	11/5	中山道を歩く
⑨	11/20	つる籠作り
⑩	12/23	竹笛作り

講師コメント

- ・ 男子17名、女子8名の25名で活動した。もう少し女子の参加があると良かった。学年は4・5年生が多く、6年生がやや少なかったが、6年生から始まる歴史の勉強の導入になったと思う。
- ・ 出席率は、毎回8割程度。塾やスポ少など、他の行事と重なり欠席する児童がいた。
- ・ 洞戸の板取川で3回泳いだ。今年はライフジャケットを購入し着用させた。
- ・ 講座の人気は、①板取川で泳ぐ、②中山道妻籠塾を歩く、③火おこし体験
- ・ 物作りで、色々な道具を使ったが、けがもなく子ども達は匠になった。また、回を重ねるたびに人間関係が良くなり、楽しく活動できた。保護者の参加も多く、非常に協力的でありがたかった。



参加者感想

- ・ 子ども大学はみんなが楽しめるような講座があつていいと思います。原始人クラブではみんなが仲良くそして楽しく勉強になったりしてとてもいいと思いました。
- ・ 今まで火の出るマッチ、着火マンなどは使ってはいけないうちになつていました。
- ・ でも原始人クラブの火おこし体験を通して、火の大切さがよくわかり、家でもマッチを擦ったりガスをつけて湯たんぽを用意することができるようになりました。
- ・ 最初の火をつけるときは、難しかったけど、電気を使わずにパンを焼いたりみんなで川に行って高いところから飛び降りるなど初めてやった体験だったので楽しかったです。1番楽しかったのは、長野県へみんなで行って昔の物や家を見ることが楽しかったです。
- ・ 火をおこしたり、川で泳いだり、やってみたことがないことが体験できて楽しかったです。
- ・ 1番楽しかったのは板取川で泳いだことや、妻籠宿へ行ったことです。私はこの講座で「生きていく力」を教えてくださいました。
- ・ おもしろいし、全体的につくった物や覚えたことが役に立って実際使えるから便利。



＜子どもゆめ基金助成事業＞ ①子どもの自然教室 午前の部
 ＜犬山市委託事業＞ ⑱子どもの自然教室 午後の部

内容：身近な森へ入って、野原や川で遊んで、採って、食べて、香って、作って、染めて……。犬山の自然をいっぱい感じてみよう！いのちを実感しよう！

回	月日	テ ー マ	内 容
①	6/18	初夏の森たんけん	はじめまして仲間と、森と出会う
②	7/2	いのちのメッセージ	写真に撮る、コメントする
③	7/16	ちきゅうのかげら	石でアクセサリづくり
④	8/20	アースミュージアム	自然の音をよく聴く
⑤	9/10	葉っぱで染めもの	周辺の植物で染める
⑥	10/1	まが玉づくり	石を削って、研いで、石に触れ、石を宝物に
⑦	10/29	いのちをいただく①	鶏肉をさばいて食べる
⑧	11/19	森の恵みでつくりもの	自然素材でかざりをつくる
⑨	12/18	いのちをいただく②	生きた鶏を絞める、さばく
⑩	1/15	森、いのちへ祈る	森に感謝、森のコンサート

講師コメント

- ・ 昨年に引き続き、テーマは「いのち」。
- ・ そのテーマに則りながら、以前から気になっていた“結びを知らない子”たちのために、2度の結びのワークを入れました。かなり苦戦しましたが、大学生ボランティアに助けをもらいながら乗り越えました。
- ・ また、今年は主催側の不手際や悪天候が重なり、川遊びが出来なかったことは、子ども達に申し訳なく思います。川で小魚にふれることを、鶏をしめるという行為の前段階として位置づけていただけに、いのちの意味付けが少し薄れてしまったかもしれません。
- ・ ただ、それでも子どもたちは勇気を振り絞って、鶏を殺して食べるという行為に向き合いました。お腹の中から出てきた卵は、「いのち」とか「生きる」ことそのものでした。
- ・ 多くを感じ、立ち止まって考え、迷い、親子で悩んだ講座となりました。



参加者感想

- ・ いろいろな自然なところに行けて楽しかった。
- ・ 自然教室では、命のこと、自然のことなどを教えてくれる講座ですごく面白いです。
- ・ はじめ行った森はびっくりしたけどすごくおもしろくなってきました。
- ・ 色んな山や川の自然が知れてうれしいです。

<子どもゆめ基金助成事業>

②冒険教室

内容:何か危険なことやるの?いいえ。ここでやるのは、自分の心に勝手に引いてしまった「自分はこのなもの」という線を、ちょっとだけ越えてみるような、小さなチャレンジです。ゲームやキャンプを通して自信を持ったり、仲間づくりをしよう!

回	月日	内 容
①	6 / 1 9	「アドベンチャープログラム1 出会う」 緊張をときほぐす遊び。
②	7 / 1 0	「アドベンチャープログラム2 知る」 みんなのこと、自分のことをもっと知ろう。
③	7 / 2 4	「アドベンチャープログラム3 探検」 森を探検しよう。
④	8 / 7	「アドベンチャープログラム4 チームづくり」 意見や感情を表現しよう。人の話に耳を傾けよう。
⑤	8 / 2 1	「アドベンチャープログラム5 探検」 川原を探検しよう。
⑥	9 / 1 1	「アドベンチャープログラム6 サバイバルのヒント」 キャンプに向けた活動。火、ナイフ、ロープの紹介など
⑦	1 0 / 1 5	「アドベンチャープログラム7 フリーキャンプ」
⑧	1 0 / 1 6	何をするのかチームで決める、1泊2日の冒険の旅。
⑨	1 1 / 2 0	「アドベンチャープログラム8 僕の、私の火」 こころに信頼という火をともし、小さな火のワーク。
⑩	1 2 / 1 8	「アドベンチャープログラム9 みんなの火」 フィナーレ 大きな火のワーク。

講師コメント

- ・ これまで2時間だった講座を、昨年より3時間に変更しました。その効果は子ども達以上に、指導する側にゆとりを生み出し、スムーズな進行ができたと思います。3年生が1名だけということもあってか、特に問題の生じない落ち着いたグループとなりました。
- ・ 宿泊キャンプの時は生憎の雨天で、屋外での焚き火やナイトハイクができずに残念でしたが、それでも屋根の下にテントを張り、夜が明けるまでランタンの明りの下、日ごろの悩みや学校では話せない秘密のことなどを語り合っていたようです。
- ・ 学校は違えど、休みの日に会う約束をしたりして、友達作りにも一役買っていたようで嬉しく思います。
- ・ ただ心配なのは、年々多くなる、リーダーシップのとれない6年生。今後は、そのトレーニングも考慮したプログラムを検討する必要があるのかもしれません。

参加者感想

- ・ 火をつけてココアが飲めてうれしかったです。
- ・ いろいろできて新しい事ができて楽しい。
- ・ すごくいい体験になり未来に生かそうと思った。
- ・ 色んな体験ができるのでとても楽しいです。
- ・ ふつうで出来ないことができるので楽しい。

